

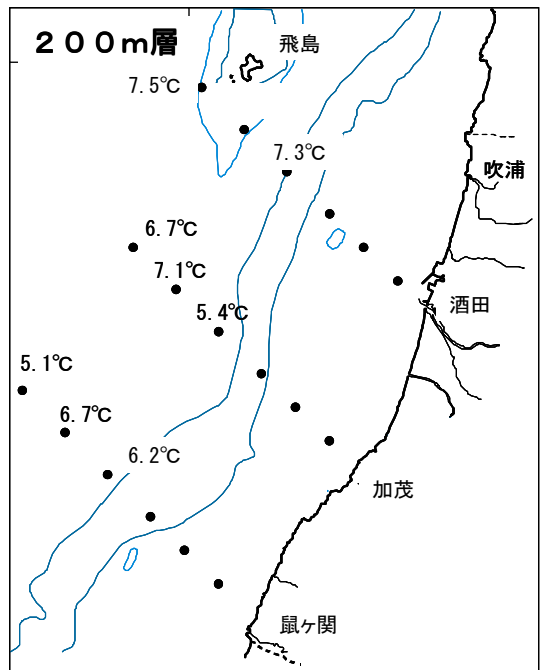
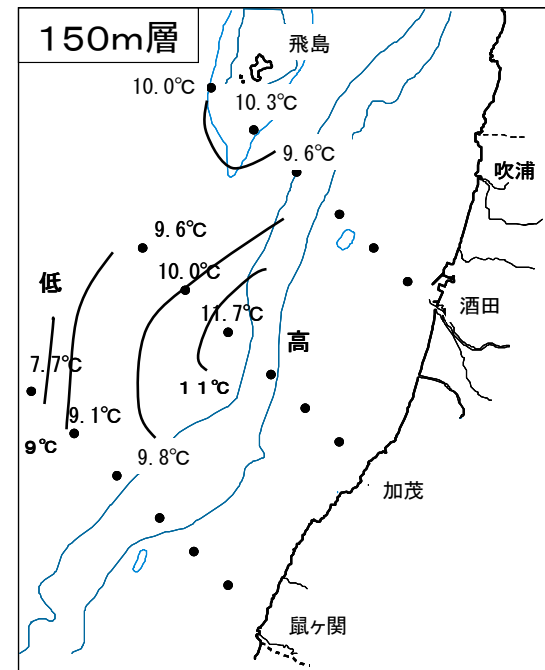
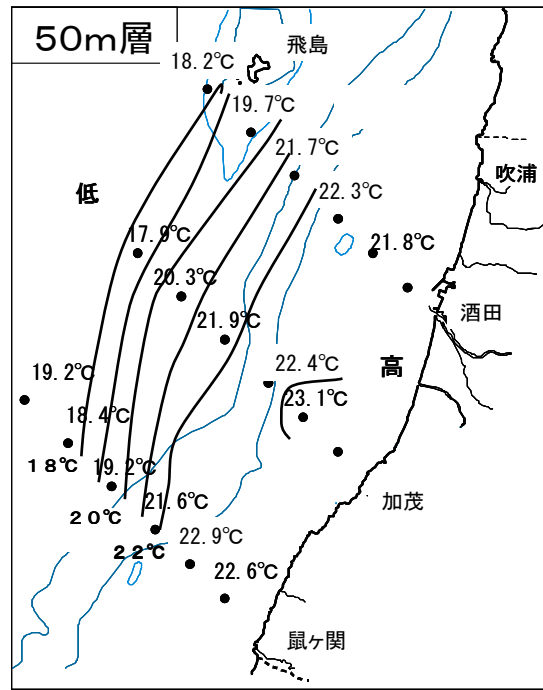
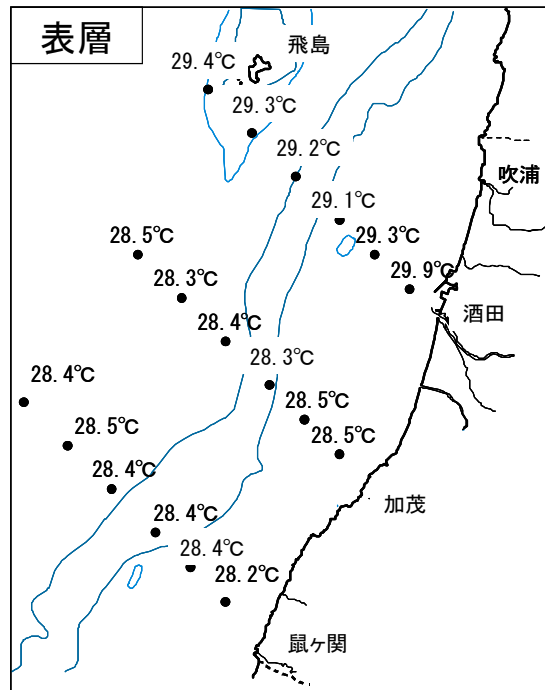
漁海況情報

第483号(平成24年9月13日発行)

発行:山形県水産試験場 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

観測日:8月30日(月峯)および8月31日(最上丸)

表層は「はなはだ高め」、50m層が「やや高め」、100m層から300m層が「**平年並み**」になっています。



各層別の平均水温

単位:°C

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	28.7	20.7	14.3	9.8	6.5	1.5
前年差	+1.9	+2.6	+0.7	-0.8	-1.3	-0.4
平年差	+3.2	+1.4	+0.4	-0.5	+0.1	-0.1
評価	はなはだ高い	やや高い	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
(前月評価)	平年並み	平年並み	やや低い	やや低い	平年並み	平年並み

評価の表現:”平年並み”は約2年に1回,”やや”は約4年に1回,”かなり”は約10年に1回,”はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

地先平均水温(8月)

単位:°C

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	28.1	+1.1	+1.8	かなり高い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	26.9	+0.4	+1.3	やや高い

大型クラゲ情報

1 概況

平成24年8月30日に独立行政法人水産総合研究センターが「大型クラゲの出現情報について(第4報)」を発表しました。内容は以下のとおりです。

(1) 出現状況

- ①日本-中国間を航行する国際フェリーを使った目視調査により、8月22日~26日に黄海中央部~西部および済州島南沖において大型クラゲの出現が認められました。
- ②黄海中央部~西部での出現量は、前回の調査時(8月8日~10日)より多く(百平米あたり平均密度:前回0.28個体、今回0.50個体)、黄海には依然として多くの大型クラゲが分布している模様です。
- ③8月中・下旬に実施した対馬海峡での国際フェリーおよび調査船による目視調査では、対馬北部周辺海域を中心に大型クラゲの出現が認められました。
- ④漁業情報サービスセンター(JAFIC)情報によりますと、8月8日に隠岐北沖、8月16日に能登西岸で大型クラゲの出現が確認され、8月中旬以降対馬および隠岐周辺で出現量が増加するとともに、九州西方の底曳漁場でも大型クラゲの出現が認められています。なお、九州北岸~山陰西部沿岸域では、大型クラゲの出現は現在のところ非常に少ない状況です。

(2) 出現予測

- ①黄海~東シナ海で出現している大型クラゲの移動予測
8月中旬に九州西方海域に分布していた大型クラゲは、9月上旬以降、対馬海峡西水道に加えて東水道からも日本海に流入する可能性が示されました。一方、8月下旬に黄海中央部~西部で確認された大型クラゲについては、今後引き続き黄海内部に滞留する可能性が示されました。
- ②対馬海峡で出現している大型クラゲの移動予測
7月中旬以降、主に対馬海峡西水道から日本海に流入した大型クラゲのうち、8月中旬に能登西岸周辺に分布したものについては、その後沖合域を北上し、9月上旬頃に男鹿半島西方の沖合に達する可能性が示されました。

2 今後の対応

九州から山陰にかけての大型クラゲの分布状況及び上記の出現予測から、今月にも山形県における出現が予測されます。引き続き、出現情報にご注意下さい。

(1) 情報提供

今後引き続き、日本近海での大型クラゲの情報が入り次第、県庁水産室、庄内総合支庁水産課及び県漁協に情報提供を行います。

(2) 来遊実態調査

- ①最上丸による試験操業時に大型クラゲの目視観察を行うとともに日本海各府県で実施される精密分布一斉調査(11月上旬を予定)に参加します。また、漁業監視調査船月峯による洋上調査と合わせ、本県への来遊状況を把握します。
- ②漁業者から随時聞き取りを行い、来遊状況や被害実態を把握します。

8月の漁況

・延べ操業隻数は、3,781隻で前年比88%でした。
 ・総漁獲量は、474トンで、スルメイカ(いか一本釣漁業及び船凍いか釣漁業)がまとまって漁獲されたため前年比114%でした。
 ・採貝藻漁業の漁獲量は94トンで前年比76%でした。アワビ、モズクは前年を上回りましたが、イワガキ、イギスは下回りました。
 なお、5～8月のイワガキ漁獲量は202トン前年比79%で前年を下回りました。
 ・定置網漁業の漁獲量は6トンで前年比84%でした。アジ、ウマヅラが前年を下回りました。
 ・はえなわ漁業の漁獲量は111トンで前年比81%でした。ソイ、ノドグロは前年を上回りましたが、タイ類、ブリ類、マグロ(メジ含む)は下回りました。
 ・その他の漁業では、いか一本釣漁業のスルメイカ、船凍いか釣漁業のスルメイカ、あまだいさし網のアマダイ、ごち網漁業魚のタイ類は前年を上回りましたが、さし網漁業のネジリ(ウシノシタ類)、キス、サザエ、一本釣漁業のブリ類、サワラ、ばいかご漁業のバイ類は下回りました。

* 前年比は平成19～23年までの平均値と比較した値です。

全漁業支所別漁獲量

単位: 隻、kg

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	263	541	612	318	404	477	354	812	3,781	96%	88%
漁獲量	21,502	41,196	245,574	61,601	27,293	31,720	12,559	32,611	474,056	163%	114%
前年比	81%	117%	491%	79%	113%	109%	131%	85%	163%		
前年比	63%	150%	149%	79%	94%	109%	1167%	75%	114%		

採貝藻漁業

単位: 隻、kg

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	177	387	109	166	110	279	208	450	2,023	100%	92%
イワガキ	17,914		12,108	6,176	7,847	9,809	6,513	14,659	75,026	87%	72%
アワビ	648			50	205	193	262	182	1,540	193%	220%
サザエ	33	6,236	80	325	1,485	1,319	1,383	699	11,560	89%	100%
イギス		98		140	131			148	517	49%	51%
モズク		365		707	42	543	107	82	1,846	643%	126%
その他	137		336	330	465	65	37	110	1,480		
計	18,855	6,698	12,876	7,753	10,189	12,029	8,321	16,796	93,517	88%	76%
前年比	88%	84%	80%	56%	76%	99%	138%	108%	88%		
前年比	62%	82%	93%	47%	72%	97%	110%	81%	76%		

その他の漁業

単位: 隻、kg

漁業種類	いか一本釣漁業		さし網漁業			あまだいさし網漁業		ごち網漁業		一本釣漁業		ばいかご漁業
	いか一本釣漁業	船凍いか釣漁業	ネジリ(ウシノシタ)	キス	サザエ	アマダイ	タイ類	ブリ類	サワラ	バイ類		
延べ操業隻数	89	3	740			115	151	205		19		
対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	ネジリ(ウシノシタ)	キス	サザエ	アマダイ	タイ類	ブリ類	サワラ	バイ類		
漁獲量(kg)	73,735	155,352	873	1,586	1,715	5,059	26,490	866	87	8,165		
前年比	283%	-	58%	86%	21%	116%	104%	15%	222%	75%		
前年比	297%	136%	62%	77%	27%	118%	119%	23%	4%	67%		

定置網漁業

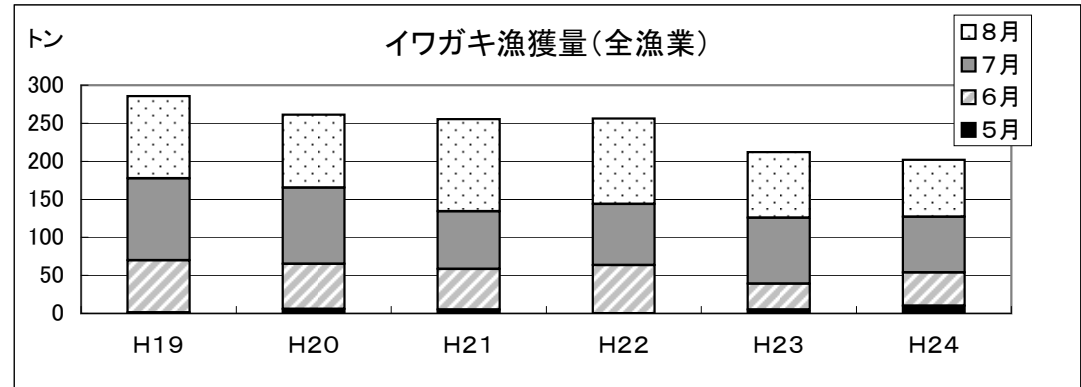
単位: 隻、kg

支所	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	19	19	1	40	89%	99%
ブリ類	1,596	831	4	2,431	92%	103%
アジ	246	249	74	569	15%	20%
ウマヅラ	9	28	44	81	28%	57%
その他	1,431	1,234	10	2,675		
計	3,282	2,342	132	5,773	67%	84%
前年比	53%	162%	16%	67%		
前年比	66%	192%	32%	84%		

はえなわ漁業

単位: 隻、kg

支所	飛島	酒田	豊浦	温海	念珠関	その他	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	7	16	17	122	151	22	335	110%	82%
タイ類		299	568	1,839	681	228	3,615	215%	87%
ブリ類		64	209	67	28	68	436	121%	84%
ソイ	1,008			2	5	4	1,019	107%	379%
ノドグロ	3	2		452	1,386		1,843	197%	263%
マグロ(メジ含む)		191	60	512	295	142	1,200	75%	30%
その他	258	25	220	1,145	721	133	2,502		
計	1,269	581	1,057	4,017	3,116	575	10,615	116%	81%
前年比	95%	40%	225%	136%	122%	153%	116%		
前年比	33%	43%	64%	148%	108%	81%	81%		



最上丸の調査状況及び予定

- 調査状況
 - 7月19日と9月11日の2回ワニザメ駆除を実施しましたが、釣獲はありませんでした。
- 調査予定(9月中旬～10月上旬)
 - カレイ類・ヒラメの資源動向を明らかにするため、稚魚の生息状況を調査します。
 - 海洋観測を行います。
 - 上架整備を行います。